

機関番号	研究種目番号	応募区分番号	小区分	整理番号
00000	00	0	00000	0000

令和 6 年度(2024 年度) 基盤研究 (C) (一般) 研究計画調書

令和 XX 年 XX 月 XX 日

X 版

新規

研究種目	基盤研究 (C)	応募区分	一般				
小区分							
研究代表者 氏名	(フリガナ) (漢字等)	氏名・所属研究機関・部局・職の欄には e-Rad の最新情報が表示されますので、記載内容に修正(所属変更・昇格等)がある場合は、研究支援・社会連携センターまでご連絡ください。					
所属研究機関							
部 局	「研究課題名」欄には、研究期間終了時までの研究内容を具体的に表すような研究課題名(一般的、抽象的な表現は避けてください。)を入力してください。 なお、全角文字のみ又は全角文字と半角文字が混在している場合は 40 字まで入力が可能です。 採択後に研究課題名を変更することはできません。						
職							
研究課題名							
研究経費 (千円未満の 端数は切り 捨てる)	令和 7 年度						
	令和 8 年度						
	令和 9 年度						
	令和 10 年度						
	総計						
開示希望の有無	審査結果の開示を希望する			「審査結果の開示を希望する」を選択することをお勧めします。応募時に開示を希望しなかった場合は、後から開示を請求することはできません。			
研究計画最終年度前年度応募	—						

必ず「希望する」と選択のこと

研究組織（研究代表者及び研究分担者）

氏名（年齢）	所属研究機関 部局 職	学位 役割分担	令和 6 年度 研究経費 （千円）	エフ ォ ー ト （%）
研究代表者 00000000 (00)	研究分担者の所属機関等について 研究分担者が複数の研究機関に所属していることがあります。その場合は、どの研究機関の所属として応募するかを研究分担者にご確認ください。研究分担者に対して、所属機関が電子申請システム上で研究分担の承諾手続きをとる必要があることをお伝えください。			
研究分担者 00000000 (00)				
研究分担者 00000000 (00)				
		学位について 自動表示はされませんので、研究代表者ご入力してください。		
	役割分担について 令和 6（2024）年度の研究実施計画に対する分担事項を中心に、研究代表者、研究分担者がどのように協力して研究を行うのか、それぞれの関連がわかるように研究代表者が研究分担者の分も含めて入力してください。 Ex.「〇〇に関する調査」、「〇〇の解析」など。 ※単語のみ（「研究統括」「研究代表者」）は避けてください。			
	「研究代表者」や「研究分担者」ではなく 具体的な実施内容の役割分担が記載されているか ※一人で行う場合は「研究代表者」だけでも問題はない	エフォートについて 「研究者の年間の全仕事時間(教育活動時を含む)を 100%とした場合、そのうち当該研究に必要となる時間の配分率（%）」という形で決定してください。		
合計 00 名		研究経費合計		

研究計画調書の記入例

摂南大学 研究支援・社会連携センター

最初に

- * 余白をつくらない。図表などを工夫し視覚的に見やすくする。見栄えも大事
- * できれば図を入れて視覚的に分かりやすく見やすく工夫する。（読む気が起こる）

- * レイアウト、フォントにも工夫の余地がある
 - ・フォント（11 p t）と行間隔（16 p t 程度）、見やすく工夫する
 - ・強調文字や下線は多用するとかえって読みづらい。薄すぎるフォントや濃すぎるのも避ける。
 - ・項目ごとに1行のスペースを空けて見やすくする。レイアウトを工夫すること
 - ・1字下げなど段落をつけ読みやすくする

- * 業績の引用の仕方
 - ・他人：（Setsudai et al, 2019）や （Setsudai, 2019）のように簡単に。
 - ・自分：（Jibun et al, Nature 2019）や（Jibun, Buntan et al, Nature 2019 他）のように他人の業績と区別して分かりやすく表記

《フォント例》

科研費	<u>科研費</u>	科研費	<u>科研費</u>	科研費
游ゴシック Light	游明朝	游ゴシック	游ゴシック Medium	MS ゴシック

！最後に実際に印刷して見栄えを確認する！

※見本では分かりやすいように枠をつけています。提出の際には削除してください

1 研究目的、研究方法など（4ページ）

本研究計画調書は「小区分」の審査区分で審査される。記述に当たっては、「科学研究費助成事業における審査及び評価に関する規程」（公募要領参照）を参考にすること。

本研究の目的と方法などについて、4頁以内で記述すること。

冒頭にその概要を簡潔にまとめて記述し、本文には、(1)本研究の学術的背景、研究課題の核心をなす学術的「問い」、(2)本研究の目的および学術的独自性と創造性、(3)本研究の着想に至った経緯や、関連する国内外の研究動向と本研究の位置づけ、(4)本研究で何をどのように、どこまで明らかにしようとするのか、(5)本研究の目的を達成するための準備状況、について具体的かつ明確に記述すること。

本研究を研究分担者とともに行う場合は、研究代表者、研究分担者の具体的な役割を記述すること。

（概要）

概要では、**研究の背景**、**研究の目的**、**研究の展開**、の3つの項目を必ず記入してください。

※審査員が最初に見る部分で非常に重要※

＊研究の**背景**（4～5行）

（例）「・・・において・・・が注目されており、・・・を解決することが求められている。しかしながら・・・における・・・が未だ説明されていないため、この課題の解決が遅れている。」

＊研究の**目的**（2～3行）（プラス＊研究の方法（2～3行）を加えてもよい）

「本研究では・・・を解決するため・・・の検討を行う。そのために、まず・・・に着目し、・・・に対する影響を調べることで（方法）・・・を明らかにし、・・・を確立することを目的とする」

＊研究の**展開**（～2行）「本研究によりこれまで不明であった・・・が明らかになることから、・・・の分野において・・・のような展開が可能になると考えられる。」

POINT

- ＊ 概要は全体が完成してから最後に書くことをお勧めします。
- ＊ 概要は10行程度で記入してください。
- ＊ 背景説明のところで問題点も示すことが好ましいと思います。

（本文）

(1) 本研究の学術的背景、研究課題の核心をなす学術的「問い」

【本研究の学術的背景】（ボリューム的には最初のページ内に収まる程度）

最初に他の研究者の研究成果など一般的な背景を記述する。

【申請者のこれまでの研究とその成果】（項目として挙げずに本文中で説明）

紙面の都合でこの項目は次のページから始まってもよい。

今回の申請課題に繋がるこれまでの自分の業績などを示すことで、申請課題を遂行し、目的を達成するために必要な実力を十分に有することを印象付けることが重要。

審査員に対する自分の実績のアピールとして重要な部分。

【本研究課題の核心をなす学術的「問い」】

問題点をしっかり記入してください。

「本研究の学術的問いは・・・」として書いてもよい。

具体的な事象の背景にある原理、機序、社会的背景、システムその他に照らし合わせて、

- ・ 今着目する事象
- ・ 対象物は本質的にどのような問題を提示しているのか？
- ・ 自分は何を問おうとしているのか？

“何”に着目するのではなく、“なぜ”それに着目するのか？ その考え、思想が大事！



図があると、すぐそこに目を向け何を表しているのか理解しようとする。注意を惹き申請課題に興味を抱かせる点で重要。

【1 研究目的、研究方法など（つづき）】

(2) 本研究の目的および学術的独自性と創造性

【本研究の目的】

(例)概要を説明し、例えば、項目を箇条書きにして整理する。

- ① ……を用いて、……を行うことで***を明らかにする。
- ② ……として特に……に着目して、これの……を解析する。
- ③ 上記の結果をもとに、**に関してこれまで不明であった++の機序を解明するなど

多くても目的としては3項目程度。論文数にして1～2報のボリューム感。

次のページで具体的に実験計画と方法を説明するので、それとの整合性を持たせること。

【本研究の学術的独自性と創造性】（この項目は最後に回しても良い）

未だ何を実際に取り組むのか説明もしていないのに独自性や創造性について説明するのは無理がある場合には、最後に回してもよい。審査にあたっては項目の記載順序は審査には影響しないとされる。あるいは、研究の目的を述べた段階で取り組みの中身が理解できるようであれば、この順番で記載しても勿論可。

①学術的独自性

申請課題に関係する学術分野において今回提案するアプローチの仕方に**オリジナリティ**を見出せる点を強調する。研究の特徴や、実施することに意味がある点を強調する。逆に言うと、審査員が「そのようなアプローチの仕方よりもっと適切な方法がある」などと思わせないことが大事。

②創造的な点（および**重要性**）なぜ今取り組む必要があるのかを強調

研究対象とアプローチ方法における独自性や新規性、創造性に関して主張する。「従来とは異なる視点からのアプローチである」等。新たに生み出されるコンセプトや新領域への展開など、発展性や挑戦性も含まれる。自分から「独創的、創造的である」とは書かない。

※項目として独立させずに上記に続けて**波及効果**の説明

学術、科学技術あるいは社会などへの波及効果。本申請課題の目的を達成することでどのようなインパクトが期待され、関連する周辺の学術分野でも利用が期待されるかなど、有益性のある未来像を提示する。社会的な波及効果まで言及することも勧められるが、あまり広大な波及効果を提示すると、審査委員の印象として「それにしては提案課題の範囲が小さすぎる」などと逆効果になることもある。

(1) (2) の評定要素 研究課題の学術的重要性

- ・学術的に見て、推進すべき重要な研究課題であるか。
- ・研究課題の核心をなす学術的「問い」は明確であり、**学術的独自性や創造性**が認められるか。
- ・本研究課題の遂行によって、**より広い学術、科学技術あるいは社会などへの波及効果**が期待できるか。

(3) 本研究の着想に至った経緯や、関連する国内外の研究動向と本研究の位置づけ
(自己紹介の項目)

【本研究の着想に至った経緯】

あまり専門的な書き方をするより、平易に極めて分かり易く説明することが好ましい。

(例)「……等の研究室において……とともに……について研究を進める中で、……のような現象が観察されることに気づき、これについてさらに詳細に調べたところ、意外にも……が関与する可能性に気付いた。そこで……のような仮説を立て、……の一連の実験を行った結果……の可能性が浮上してきた。このことを明らかにするための具体的方法を検討する中で、これまでの申請者が行ってきた様々な実験手法や経験を活用できる具体的なアプローチの方法が思い浮かび本研究の着想に至った。」

【1 研究目的、研究方法など（つづき）】

【関連する国内外の研究動向と本研究の位置づけ】

先の研究目的では学術的な視点で、専門分野に限定して説明したが、ここではもう少し広い観点から研究の持つ意味合いを説明する。専門外の人間が読んでも「なるほど確かに面白い研究で、実施する価値は十分ある」と思わせるような書き方が必要。

国内外の研究者によってどのような研究がなされているのか、論文などを挙げて説明することも好ましい。

それに対して申請者の研究がどのような点でユニークであり、どのような貢献が期待されるのかを平易な文章で説明することが好ましい。

図を挿入して視覚的に訴えること。レイアウトなども工夫するとよい。

(4) 本研究で何をどのように、どこまで明らかにしようとするのか (ボリューム的には1ページ+1/3～1/2程度が望ましい)

具体的に記述することが重要。実際の例を挙げて、何を行い、そしてどうなるのかまで記述する。「××について調査する」「客観的指標を開発する」のような記述は避けて、例えば「××について〇〇を用いて△△を測定することで、・・・を評価するための客観的指標を開発する」のような説明の仕方が好ましい。

【（年度ごとの）研究計画、方法】（本研究目的の「序文」を記載しても良い）

計画の概要（年度ごと）、研究目的と研究方法（年度ごと）の記載

- ① 具体的な実験（調査）の目的を記載し・・・
- ② 具体的にどのような方法を用いて・・・
- ③ 何を明らかにするのかを説明する。

- * 前頁で示した研究目的①から③に対応した研究計画と方法を示すこと。
- * いきなり実験（調査）方法を書くのではなく、どのような目的で行うのかを説明する。

POINT

POINT

具体的な例を挙げて、研究内容が視覚的にイメージできるような説明が好ましい。抽象的な項目、対象ではなく、例えば
「・・・物質の神経細胞に対する影響を評価する」ではなく、
「〇〇や△△のような・・・物質が神経細胞に対してどのように作用するのか、***を用いることでその影響を定量的に評価し、・・・」
のような書き方がより好ましい。

「〇〇に関するアンケート調査を行う」といった記述の仕方は避けて、アンケートの具体的な内容（対象者、人数、質問項目）とその分析方法まで含めて記述することが好ましい。さらに、アンケートを行うこと、調査することが目的ではなく、「そのことで何を明らかにするのか」にまで踏み込んで記述することが好ましい。

【1 研究目的、研究方法など（つづき）】

【研究体制について】図、表、フローチャートなど

本研究を研究分担者とともに行う場合は、研究代表者、研究分担者の具体的な役割を記述してください。

「以上の研究によって、～が明らかになる」、「この研究は、～に貢献できる」などの締め言葉があってもよい。

図を挿入して視覚的に訴えること。レイアウトなども工夫するとよい。余白を残さないこと。

評定要素 研究方法の妥当性

*研究目的を達成するため、研究方法等は**具体的かつ適切**であるか。また、研究経費は研究計画と整合性がとれたものとなっているか。

(5)本研究の目的を達成するための準備状況

すでに**予備検討を実施しており、すぐに着手可能**であることを強調する。
研究室の協力者、アドバイザーなどとの関係や、設備面、環境面で申請課題の実施が問題なく進められることをしっかり説明する。

予備検討の結果などがあれば図などで示すと印象が良い。

POINT

申請者の「個人的な」経験について説明する。
失敗やうまく行かなかったことなども書いても良い。申請課題といかに密接な関係にあるかを強調することが好ましい。

2 応募者の研究遂行能力及び研究環境

応募者（研究代表者、研究分担者）の研究計画の実行可能性を示すため、(1)これまでの研究活動、(2)研究環境（研究遂行に必要な研究施設・設備・研究資料等を含む）について2頁以内で記述すること。

「(1)これまでの研究活動」の記述には、研究計画に関連した国際的な取組（国際共同研究の実施歴や海外機関での研究歴等）がある場合には必要に応じてその内容を含めること。また、研究活動を中断していた期間がある場合にはその説明などを含めてもよい。

(1) これまでの研究活動

研究遂行能力があることを具体的に説明する。

例えば・・・

時系列的に

- * 年度
- * 所属研究機関
- * タイトル
- * 研究テーマ
- * 代表的発表論文（first author）と概要
- * 学会発表であれば学会名、
- * 発表タイトル、発表年月日など。
- * 研究助成があればそれも記述、財団名、
テーマと成果

(記入例)

2000.4～2006.3 ・・・大学・・・学部・・・講座・・・研究室（・・・教授）特任助教

研究テーマ「・・・の構造と生化学的・・・に及ぼす影響」に関する研究を、主に・・・の観点から検討を行った。その結果、・・・や
といった新たな知見が得られ、・・・における・・・の開発に繋がる大きな成果が得られた。研究成果は論文として、・・・および・・・に報告するとともに、国内学会・・・および国際学会・・・にて発表を行った。

2006.4.～ 2012.3

.....

2012.4～ 現在

.....

POINT

平成31年度以降業績欄がなくなり、さらに reseachmap が導入されたことから業績を箇条書きに記述する必要がなくなった。
申請者本人の業績を、本申請課題との関連を明確にして成果も含めて説明することが重要。また研究遂行能力を示す観点から、申請課題とは直接関係しない業績や助成金などについても記述した方がよい。
学会発表も以前は招待講演などに限られていたが、ここに発表内容も含めて記述してもよい。

評定要素 研究遂行能力及び研究環境の適切性

- ・研究計画に対する高い遂行能力を有していると判断できるか。
(組織全体としての研究遂行能力は十分に高いか。)
- ・研究計画の遂行に必要な**研究施設・設備・研究資料等、研究環境**は整っているか。
(研究課題の成果を社会・国民に発信する方法等は考慮されているか。)

【2 応募者の研究遂行能力及び研究環境（つづき）】

（2）研究環境（研究遂行に必要な研究施設・設備・研究資料等を含む）

研究施設は所属機関に無くとも利用できる環境にあればよい。例えば

- * 微細構造解析プラットフォーム
 - * 文部科学省「ナノテクノロジープラットホーム」
 - * 各都道府県管轄「工業技術センター」「産業技術センター」等の利用
 - * 共同研究機関保有機器
 - * 創薬等先端技術支援基盤プラットフォーム(BINDS)」(AMED「創薬等ライフサイエンス研究支援基盤事業」)
- 等

使用実績とそれによる成果を記述することが大事。実績重視。

設備としては、共用の分析機器や汎用機器類と利用状況（ルーチンで利用中など）研究環境としてさらにアドバイザーや研究協力者としての大学院生などの関与や研究機関内の人的交流、情報交換、勉強会その他。

特徴のある設備であれば写真を載せることも良い。

※必ず末尾まで埋めること。余白があれば、使用予定の装置の写真や設備などの図面など何か印象に残りやすい工夫が必要。

（例）



3 人権の保護及び法令等の遵守への対応（公募要領 4 頁参照）

本研究を遂行するに当たって、相手方の同意・協力を必要とする研究、個人情報の取扱いの配慮を必要とする研究、生命倫理・安全対策に対する取組を必要とする研究など指針・法令等（国際共同研究を行う国・地域の指針・法令等を含む）に基づく手続が必要な研究が含まれている場合、講じる対策と措置を、1 頁以内に記述すること。

個人情報を伴うアンケート調査・インタビュー調査・行動調査（個人履歴・映像を含む）、提供を受けた試料の使用、ヒト遺伝子解析研究、遺伝子組換え実験、動物実験など、研究機関内外の倫理委員会等における承認手続が必要となる調査・研究・実験などが対象となる。

該当しない場合には、その旨記述すること。

該当しない場合は「該当なし」と記載する。

例 1：遺伝子組換え実験を行う場合

本研究の遺伝子組換え実験は摂南大学遺伝子組換え実験等安全委員会の承認を得る予定であり（もしくは、すでに得ており）、関連諸法に基づいた学内の遺伝子組換え実験安全管理規程に則り行う。

例 2：動物実験を行う場合

本研究課題における実験動物の使用については、摂南大学動物実験委員会の審議・承認を得る予定であり（もしくは、すでに得ており）、動物愛護管理法、「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準」（環境省）、「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針」（文部科学省）、「動物実験の適正な実施に向けたガイドライン」（日本学術会議）を遵守しこれらに基づいた学内の動物実験の実施に関する規程に則り行う。

例 3：アンケート調査・聞き取り調査等、相手方の同意・協力を必要とする研究、個人情報の取扱いの配慮を必要とする研究を行う場合

本研究課題については、摂南大学人を対象とする研究倫理審査委員会の審議・承認を得る予定であり（もしくは、すでに得ており）、聞き取り（もしくは、アンケート）調査の実施に際しては、対象者に研究目的やデータの利用方法などを研究者から文書（もしくは、口頭）で説明し、相手の理解を確認後、同意を得た上で行う。同意を得る際には以下の説明と保証を示す。

1. 研究協力に同意するかどうかは全くの自由意思であること。
2. 個人情報は厳重に管理し、所属機関の規定に従い、指定の期間適切に保管し、指定の年限を経過した後、適切に廃棄すること。
3. データは個人情報を削除した上、匿名化して管理する。
4. 個人情報・得られたデータは施錠された棚で管理すること。
5. 疑義・異論等は、研究者に適宜問い合わせ可能であること。
6. 公表の際には個人が特定できないように配慮すること。
7. 学生については、調査が学生生活に不利をもたらさないよう配慮すること。
8. 報告書・論文への掲載の有無、匿名の有無については事前に確認をとること。

個人情報の含まれるデータは匿名化し、本研究メンバーにのみアクセス権限のある、インターネット接続のない持ち出し不可の専用端末に保管する。

本研究で得られた個人情報を含む全ての情報は秘密情報として管理し、鍵のある保管庫若しくは施錠した室内に保管し、閲覧権限のある者のみが閲覧できるよう管理する。

4 研究計画最終年度前年度応募を行う場合の記述事項（該当者は必ず記述してください（公募要領 26 頁参照））

本研究の研究代表者が行っている、令和 6（2024）年度が最終年度に当たる継続研究課題の当初研究計画、その研究によって得られた新たな知見等の研究成果を記述するとともに、当該研究の進展を踏まえ、本研究を前年度応募する理由（研究の展開状況、経費の必要性等）を 1 頁以内で記述すること。
該当しない場合は記述欄を削除することなく、空欄のまま提出すること。

研究種目名	課題番号	研究課題名	研究期間
			平成 年 度～令和4 年度

当初研究計画及び研究成果

前年度応募する理由

研究経費とその必要性

年度	設備備品費の明細					消耗品費の明細	
	品名・仕様	設置機関	数量	単価	金額	事項	金額
R6	●●装置（●●社、型番）	摂南大学	1	500	500	実験動物（ラット @2,000×100 匹）	200
R6	質問紙調査結果分析用 PC（●●社、 型番）	摂南大学	1	100	100	●●検出薬	150
R6						ガラス器具	100
R6						印刷用トナー	50
R6						印刷用紙	5
R6						●●関係図書	100
R7	統計解析ソフト（SPSS ●●パッケ ージ）	摂南大学	1	300	300	外付けハードディ スク	10
R7						IC レコーダー	5
R7						論文別刷	50
R8							

設備備品費についての留意事項

・機械器具の場合は、単に〇〇〇一式とするだけでなくその内訳も入力してください。

消耗品費についての留意事項

- ・本学では本課題を遂行する上で必要な図書は消耗図書となります。
- ・多数の図書、資料を購入する場合は「西洋中世政治史関係図書」のように、ある程度、図書、資料の内容が判明するような表現で入力してください

設備備品費、消耗品費の必要性

- ・●●●の調査を行うにあたり●●●に関する文献を調査する必要がある、●●●関係図書は必須である。
- ・質問紙調査は個人情報を含むため、その結果を管理・分析するにあたり、インターネットに接続しないパソコンが必要となる。
- ・●●● ● ● ●

(必要性が分かるように記載してください。必要性が不明瞭なものや、経費の妥当性が疑わしいものは審査委員の心象を悪くする恐れがあります)

設備備品費についての留意事項

いずれかの年度において、「設備備品費」が全体の経費の 90%を超える場合および「消耗品費」で特に大きな割合を占める経費がある場合は、当該経費の研究遂行上の必要性についても入力しなければなりません。

年度	国内旅費の明細		外国旅費の明細		人件費・謝金の明細		その他の明細	
	事項	金額	事項	金額	事項	金額	事項	金額
R6	●●学会発表（東京3泊）（交通費30,000円、日当3,000円＋宿泊費12,000円×3泊）	75	●●学会発表（サンフランシスコ5泊）（交通費150,000円、日当7,000円＋宿泊費23,000円×5泊）	300	資料整理（1名×940円×15時間）	14	質問紙郵送費（120円×100通）	12
R6							会議会場借料（5000円×3時間）	15
R7					データ入力（1名×940円×5時間）	5		
R7	●●学会発表（札幌2泊2名）（交通費30,000円、日当3,000円＋宿泊費12,000円×2泊）×2名	120	●●学会発表（ソウル4泊）（交通費25,000円、日当5,000円＋宿泊費15,000円×4泊）	110	資料整理（1名×940円×10時間）	9		
R8	●●学会発表（京都、日帰り2名）（交通費1,000円＋日当2,700円）×2名	7						
旅費についての留意事項 ・研究代表者、研究分担者及び研究協力者の海外・国内出張（資料収集、各種調査、研究の打合せ、研究の成果発表等）のための経費（交通費、宿泊費、日当）等を、その事項毎に入力してください。 ※国内・外国ともに、場所がわかる場合は記載してください。								
人件費・謝金についての留意事項 ・資料整理、実験補助、外部委託した翻訳・校閲、専門的知識の提供、アンケートの配付・回収等で研究協力者に係る謝金、報酬等をその事項毎に入力してください。 - 例：資料整理（内訳：○人×○日×@△△千円）								
その他についての留意事項 ・設備備品費、消耗品費、旅費、人件費・謝金のほか当該研究を遂行するための経費（例：印刷費、複写費、現像・焼付費、通信費（切手、電話等）、運搬費、研究実施場所借り上げ費（研究機関の施設において補助事業の遂行が困難な場合に限る）、会議費（会場借料、食事（アルコール類を除く）費用等）、リース・レンタル費用（コンピュータ、自動車、実験機器・器具等）、機器修理費用、旅費以外の交通費、研究成果発表費用（学会誌投稿料、ホームページ作成費用、研究成果広報用パンフレット作成費用、一般市民を対象とした研究成果広報活動費用等）、実験廃棄物処理費）等を、その事項毎に入力してください。								
旅費、人件費・謝金、その他の必要性 手土産代は科研費に請求できません。								
・入力した旅費、人件費・謝金、その他の経費について、年度毎の研究計画を基にその必要性を具体的に記入する。 ・本研究のいずれかの年度において、「旅費」または「人件費・謝金」のいずれかの費目が、全体の研究経費の90%を超える場合及び「その他」で特に大きな割合を占める経費がある場合は、当該経費の研究遂行上の必要性についても明記する。								

研究費の応募・受入等の状況
(1) 応募中の研究費

基盤研究 (C) (一般) 11 - ()

研究者氏名					
資金制度・研究費名（研究期間・配分機関等名）	研究課題名（研究代表者氏名）	役割	令和 6 年度の 研究経費 （期間全体の額）	令和4年度 エフォート （%）	研究内容の相違点及び他の研究費に加えて 本応募研究課題に応募する理由 （左記の研究課題に応募するに当たっての所属組織・役職） （科研費の研究代表者の場合は、研究期間全体の受入額）
【本応募研究課題】基盤研究（C）（一般）	〇〇〇を基盤とした〇〇〇の機能評価	代表	(千円) 1,000 (3,000)	25	エフォートが高すぎる場合は確認する
設が R 6 年度のが代表者分の研究費、 口内は期間全体の額から分担者に渡す研究費 額を差し引いた金額 ページ目の金額と差異がないか確認すること					
(一般)		担	100 (300)	10	本研究は〇〇を明らかにすることを 目的としており、〇〇を目指す上 記の応募課題とは全く異なる研究 である。
R6 公募以降はこのページは PDF に表示されなくなりました					
(R6～R9)					
学術変革領域研究（公募研究） (R6～R7)		表	(2,000) (千円)	10	と を目的としており、〇〇を目指す上 記の応募課題とは全く異なる研究 である。 (摂南大学・〇〇学部・教授) (期間全体の受入額：2,000 千円)
					・応募課題との相違点が明確に書 かれているか ・応募するに当たっての所属組織・ 役職が書かれているか ・科研費の研究代表者の場合は期 間全体の受入額が書かれているか
			(千円)		
			(千円)		

上段が R 6 年度のが代表者分の研究費、
カッコ内は期間全体の額から分担者に渡す研究費
総額を差し引いた金額
2 ページ目の金額と差異がないか確認すること

エフォートが高すぎる場合は確認する

R6 公募以降はこのページは PDF に表示されなくなりました

（2）受入予定の研究費

資金制度・研究費名（研究期間・配分機関等名）	研究課題名（研究代表者氏名）	役割	令和4年度の研究経費（期間全体の額）	令和4年度エフオー（%）	研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究課題に応募する理由（左記の研究課題に応募するに当たっての所属組織・役職）（科研費の研究代表者の場合は、研究期間全体の受入額）
			（千円）		
R6 公募以降はこのページは PDF に表示されなくなりました					
			（千円）		
			（千円）		
			（千円）		
（3）その他の活動				55	
合 計				100（%）	